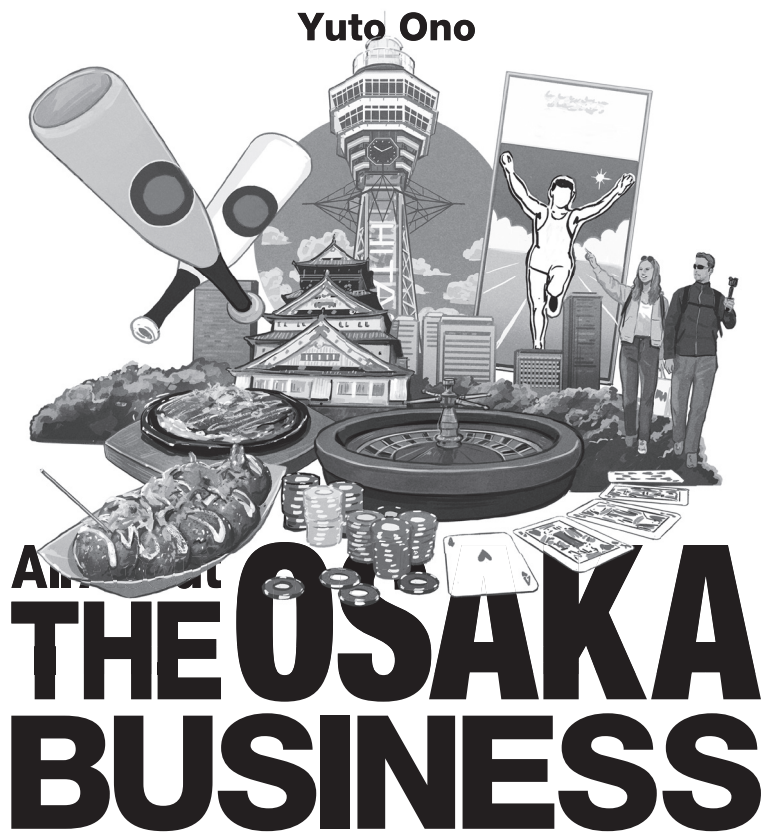


大阪ビジネス

地元の人から全国、世界中の人まで楽しく読める大阪の教養

大野雄斗
Yuto Ono



CROSSMEDIA PUBLISHING

はじめに 大阪ってどうしてこんなにオモロイの？

みなさんは、「大阪」にどのようなイメージをお持ちでしょうか？

たこ焼き、お笑い、グリコの看板、阪神タイガース、大阪のおばちゃん……人によって真っ先に思い浮かぶものは違うかもしれませんが。しかし、どんなものでも、賑やかでエネルギーギッシユなイメージが付いてくるのではないのでしょうか。

大阪は日本の中でもなぜかほかの都道府県と違う特徴があります。「ボケとツッコミで会話する」「なぜか鉛ちゃんをいつも持っているおばちゃん」「当たり前のように店で値切る」「お好み焼きとご飯を一緒に食べる」など、〃大阪だけあるある〃を挙げたらキリがありませんが、大阪は文化や住民の性格が異質で、まるで独立国家のような存在感を放っています。

いったいなぜ、大阪はこんなにオモロイ都市なのか。拙著では、その理由を解き明かしていけるよう、歴史、文化、企業、エンタメ、未来の情報まで幅広く紹介していきます。

この本を執筆している私のプロフィールを簡単にお伝えします。私は、関西のとあるテレビ局で報道記者をしています。神戸担当や奈良担当など複数のエリアの取材をしてきましたが、大阪府警を一番長く担当してきました。大阪で事件が起きたら現場に駆け付け、何があったか聞き込み、防犯カメラを探し、ときにはまだ捕まっていない犯人の行方まで追いかける変わった仕事をしてきました。

大阪府警担当時代に大阪全域に足を運んで歩き回った経験、そして取材中に見つけた意外な大阪の歴史・文化。そういった情報もお伝えしようと思っています。

ただ、私の出身は愛知県。オチもツッコミもない平和な県で育ってきました。京都大学に進学してからは、京都に4年、神戸に1年半、そして大阪に5年住み、少しずつ「関西力」を身につけているものの、バリバリの「エセ関西弁」話者であり、大阪では「エセ」、愛知では「染まった」と言われ続ける日々です。

そんな半端者の私ではありますが、大阪人ではないからこそ、気づくことできた「大阪のオモロイ歴史と文化」がたくさんあります。大阪に来てからというもの、大阪のインパクトに圧倒され続ける毎日です。

この本では、大阪を過去・現在・未来の3要素から読み解いていきます。そして、9つのトピックに細分化して大阪をビジネス視点で見つめることで、多角的な特徴を紹介していきます。大阪はとてつもないスピードで経済が加速しています。かつて「天下の台所」と呼ばれた大阪の経済規模はいまや45兆円。京阪神は世界有数の経済圏であり、「世界のイノベーション拠点」に生まれ変わりつつあるのです。拙著では、大阪に住んでいる人も実は知らないかもしれない大阪経済のいまを紹介しています。もう、「知らんけど」では済まされません。

では早速、なぜ大阪はこれほどまでにオモロイ都市なのかを紐解いていきましょう。

はじめに 大阪ってどうしてこんなにオモロイの? 0 0 3

第1章 Chapter 1 : The World of Geography

キタ・ミナミから学ぶ地理の世界

- 1 伊丹空港、関西国際空港 関西と世界を繋ぐハブ 0 1 6
- 2 大阪の北の玄関口「梅田」ビジネスの中心地 0 2 0
- 3 アメ村も高級ブランドも 買い物するならミナミへ 0 2 4
- 4 日本最古の官寺がそびえたつ天王寺 0 2 8
- 5 古き良きレトロな大阪を味わうなら新世界 0 3 2
- 6 京都も神戸も奈良も電車でも30分 関西の中でも最強の立地 0 3 6

COLUMN ミナミの帝王で描かれる大阪の日常 0 4 0

第2章 Chapter 2 : The World of Entertainment and Tourism

吉本新喜劇から学ぶ エンタメと観光の世界

- 1 大阪城、通天閣、新世界……観光客がひっきりなしの大阪……………044
- 2 ネオン、グリコ看板、かに道楽 写真スポット満載の道頓堀……………048
- 3 日本一長い天神橋筋商店街 歩くのに40分かかる？……………052
- 4 笑いの聖地 大阪の吉本新喜劇とは……………056
- 5 日本で唯一のUSJの面白さ……………059
- 6 見ごたえのある阪神タイガースの熱狂的な応援……………064

COLUMN 大阪万博が観光にもたらす経済効果はいかに……………068

第3章 Chapter 3 : The World of Gourmet

粉もんから学ぶグルメの世界

- 1 食い倒れの町として栄えた大阪の食文化とは……………072
- 2 たこ焼き、お好み焼き……大阪を代表する粉もん文化……………076
- 3 大阪には一家に一台たこ焼き器がある？……………080
- 4 ソースの二度漬け禁止で有名な大阪の串カツ……………084
- 5 薄味の上品なだしを使用する大阪のきつねうどん……………088
- 6 もったいない精神から生まれた大阪発祥のミックスジュース……………091

COLUMN 全国でも人気を博する大阪発祥のチェーン店……………094

第4章 Chapter 4 : The World of Foods Industry

インスタントラーメンから学ぶ 食品業の世界

- 1 豊かな食文化を持つ大阪食品関連産業も盛ん……………098
- 2 プレミアムウイスキーといえばサントリーー鳥井商店が起源……………101
- 3 大阪に本社を構えるビールメーカーアサヒビール……………105
- 4 インスタントラーメン、カップラーメンを生み出した日清食品……………109
- 5 なぜグリコの看板の人はランニングしている？……………114
- 6 カレーを日本の家庭料理として定着させたハウス食品……………118

COLUMN 実は食品サンプルも大阪が発祥？……………122

第5章 Chapter 5 : The World of Manufacturing Industry

町工場から学ぶ製造業の世界

- 1 ものづくりのまち東大阪 中小企業や町工場の多さ…………… 1 2 6
- 2 日本を代表する電機メーカー 松下幸之助創業のパナソニック…………… 1 2 9
- 3 電卓と液晶テレビを開発 目のつけどころがシャープでしょ…………… 1 3 3
- 4 世界的にも有名な農業機械のトップメーカー 久保田…………… 1 3 7
- 5 ダイキンの冷やしすぎないエアコンが話題に…………… 1 4 1
- 6 象印マホービンも大阪から生まれて世界的にヒット…………… 1 4 4

COLUMN 下町ケットの舞台は東大阪の町工場…………… 1 4 8

第6章 Chapter 6 : The World of Pharmaceutical Industry

薬の町から学ぶ化学・医薬品の世界

- 1 「薬の町」として有名な道修町とは 152
- 2 化学薬品・エレクトロニクス・環境対策大阪のハイテク産業 156
- 3 日本最大の製薬会社武田薬品工業 160
- 4 インフルエンザ治療薬ゾフルーザ開発の塩野義製薬 164
- 5 熱さまシート、のどぬぐるネーミングがうまい小林製薬 168

COLUMN 薬の神様を祀っている少彦名神社 172

第7章 Chapter 7 : The World of Business Customs

「やってみなはれ」から学ぶ

商習慣の世界

1	日本経済を左右する天下の台所とも呼ばれた大阪	176
2	がめつさ、ケチ、儉約その違いとは	180
3	笑いもビジネスに取り入れる大阪人	184
4	大阪商人のスピリッツ「やってみなはれ」とは	188
5	進取の精神が育まれたわけ	192
6	義理人情に厚い大阪でのビジネスのコツ	196
COLUMN	大阪は企業同士にも値下げ文化がある？	200

第8章 Chapter 8 : The World of Culture

大阪のおばちゃんから学ぶ 文化の世界

- 1 大阪のおばちゃんといえはヒヨウ柄ファッション 204
- 2 困っていないなくてもおせっかいを焼いてくれる大阪のおばちゃん 209
- 3 「飴ちゃん食べる？」はいまも存在するのか 213
- 4 大阪民の生活スキル 値切り交渉とその極意 217
- 5 小話でもオチがなければNG? 222
- 6 ほんま、なんでやねん、おおきにイントネーションが独特な大阪弁 227

COLUMN 大阪人が二人寄れば漫才になるらしい 231

第9章

Chapter 9 : The World of Business: What Comes Next

I-Rから学ぶこれからの大阪ビジネスの世界

- | | | |
|---|--|-----|
| 1 | アジアで一番住みやすい都市になったことも？ 評判の大阪 | 234 |
| 2 | カジノ、ホテル、ショッピングモール、エンターテインメント……大阪のI-R計画とは | 238 |
| 3 | I-R計画のメリット・デメリット 雇用創出とギャンブル依存症対策 | 242 |
| 4 | 大阪I-Rの経済効果は1兆円？ 税収と周辺地域への波 | 248 |
| 5 | SDGs 未来都市に選ばれた大阪の環境への取り組み | 252 |
| 6 | リニア新幹線開通に高まる期待 | 256 |

COLUMN 観光立国としての躍進を目指す大阪の挑戦

260

おわりに 大阪のビジネスの未来はもっとオモロイで！

262

装丁 金澤浩二
 装画 サイトウユウスケ
 DTP 石澤義裕